

スペイン観光

2013/01/08～14



スペイン観光訪問先



フランクフルト経由バルセロナ
世界遺産 サグラダファミリア教会
グエル公園 三つはガウディ建築群
カサ・ミラマンション
世界遺産 カタルーニャ音楽堂
独自行動でバルセロナのマルシェ
世界遺産 水道橋
世界遺産 ヤシ園
独自行動で世界遺産 アルハンブラ宮殿
独自行動で世界遺産 アルバイシン地区
ラ・マンチャのドン・キホーテ風車群
マドリッド プラド美術館
独自行動で世界遺産 古都トレド
独自行動でマドリッド市内見物
マドリッドよりミュンヘン経由成田

1 ガウディの建築群

サグラダファミリア教会



バルセロナのガウディの建築によるサグラダファミリア教会の外壁は、自然を表すのか岩のようで、支える柱は不統一であった。
やはり人気が強くて同行者の全員がカメラに夢中であった。



サグラダファミリア教会の外壁



入り口には各種の彫刻があった。右上の MARIA とキリスト像の上の方に、写真では左上の写真にハーブを弾いている像がある。それは日本人が彫刻したものであるが、優しい顔をしていた。右下は裏門。



サグラダファミリア教会の内部



上段はガウディの塑像。
下は建築や彫刻のジオラマを作る部屋。

外部の凹凸と違い、内部は装飾が少なく、シンプルであった。このシンプルさと柱が気に入った。



ガウディ作のグエル公園



このベンチはジェエトストリームに出てくる

公園を支える柱は千差万別の岩



ガウディは高級住宅として設計をしたが、希望者が一戸しかなく公園になっている。
山なので水道の敷設に苦労したらしい。

2 バルセロナの市場



海外に行くと自由行動のとき、必ず見るマルシェ。バルセロナのマルシェは賑やかで商品も豊富にあり、見応えがあった。

世界遺産のカタルーニャ音楽堂は、内部は立派らしいが外側は、なにこれ？って感じ





肉屋は圧倒的なソーセージとハムで、生肉はほんの少しだった。



市場の中で昼食をとった。
あれとこれを指を指して
チョイスする。
店員は気さくでいろいろ話
しかけてくるので、ボデイ
ランゲージとスペイン語の
辞書を活用する。
店員もipadminiに興味を持
ち、最後は店員と握手し
た。料理は結構美味しあっ
た。

バルセロナのひとびと



子どもは可愛く若い人は綺麗だが、子どもを産むとみな横に広がると現地人が言っていた。



やたら薬局が目立った。西欧はそうだが、ここも犬の散歩で糞処理道具をもっていない

3 世界遺産の水道橋とヤシ園



グラナダに向かう途中に立ち寄った。ともに世界遺産の水道橋とヤシ園は、小便タイムのついでと言った感じで全員が無感動だった。水道橋はフランスの世界遺産であるポン・デュ・ガールにはかなわない。

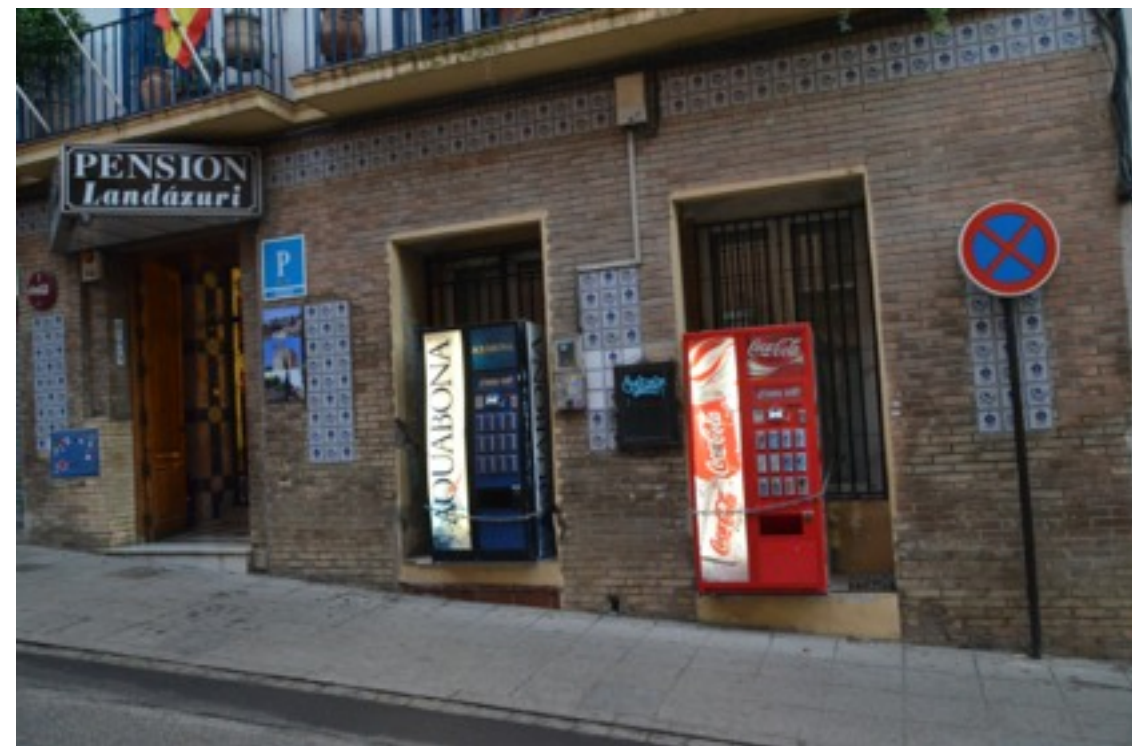
4 アルハンブラ宮殿周辺



グラナダのアルハンブラ宮殿はオプションではなく独自参加とした。

市内から30分ほどかかってアルハンブラへ向かった。門が二つあり、長い坂道をまだかと思いながら歩いた。結果的に内部は閉館間際で中に入れず、外側の一部の見学になった。

途中、ヨーロッパでは珍しい自動販売機があった。持ち去られないように、鎖でがっちり固定されていた。



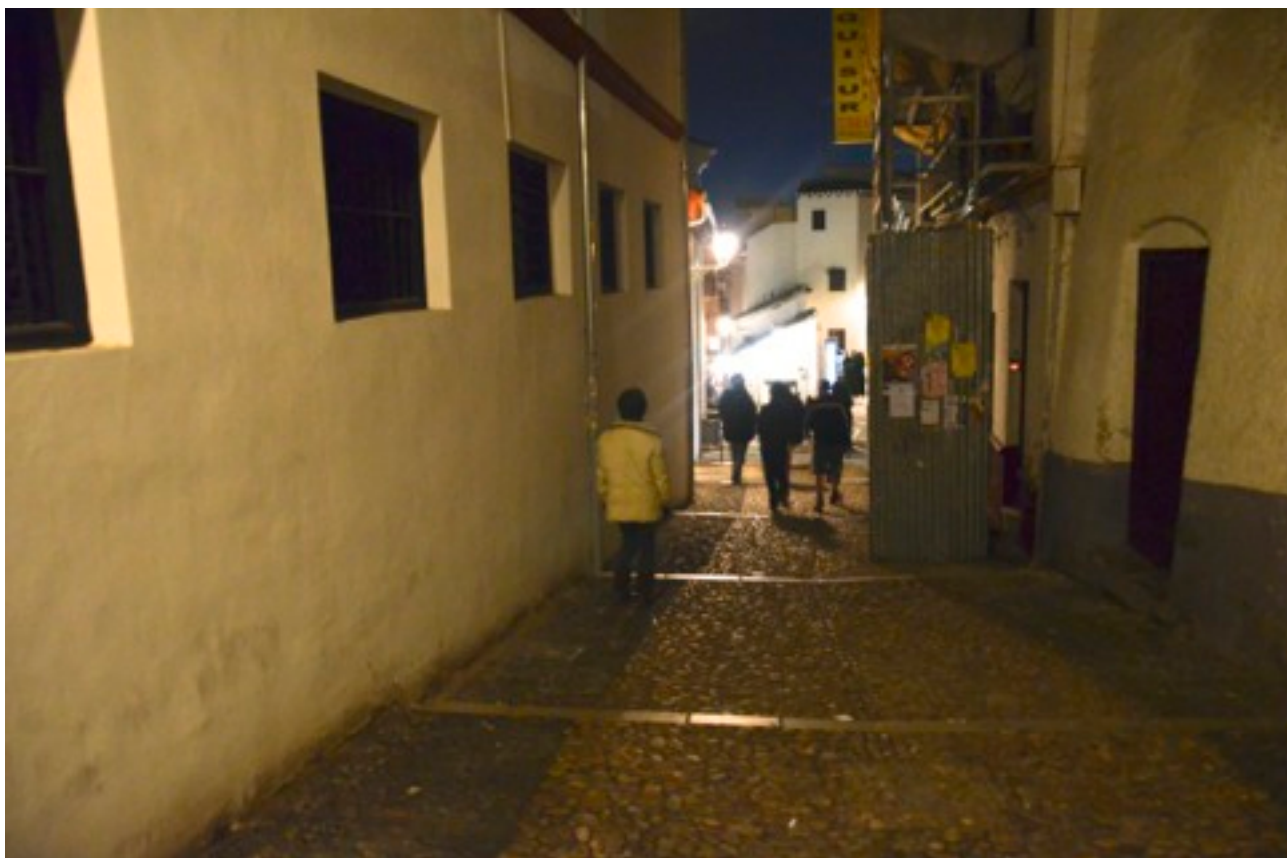


グラナダのアルハンブラ宮殿から対岸のやはり世界遺産のアルバイシン地区を望む。

宮殿から一時間歩いてアルバイシン地区。その展望台から、アルハンブラ宮殿の夜景は、撮影者がいっぱいだった。

この展望台では音楽や踊りをしていた。

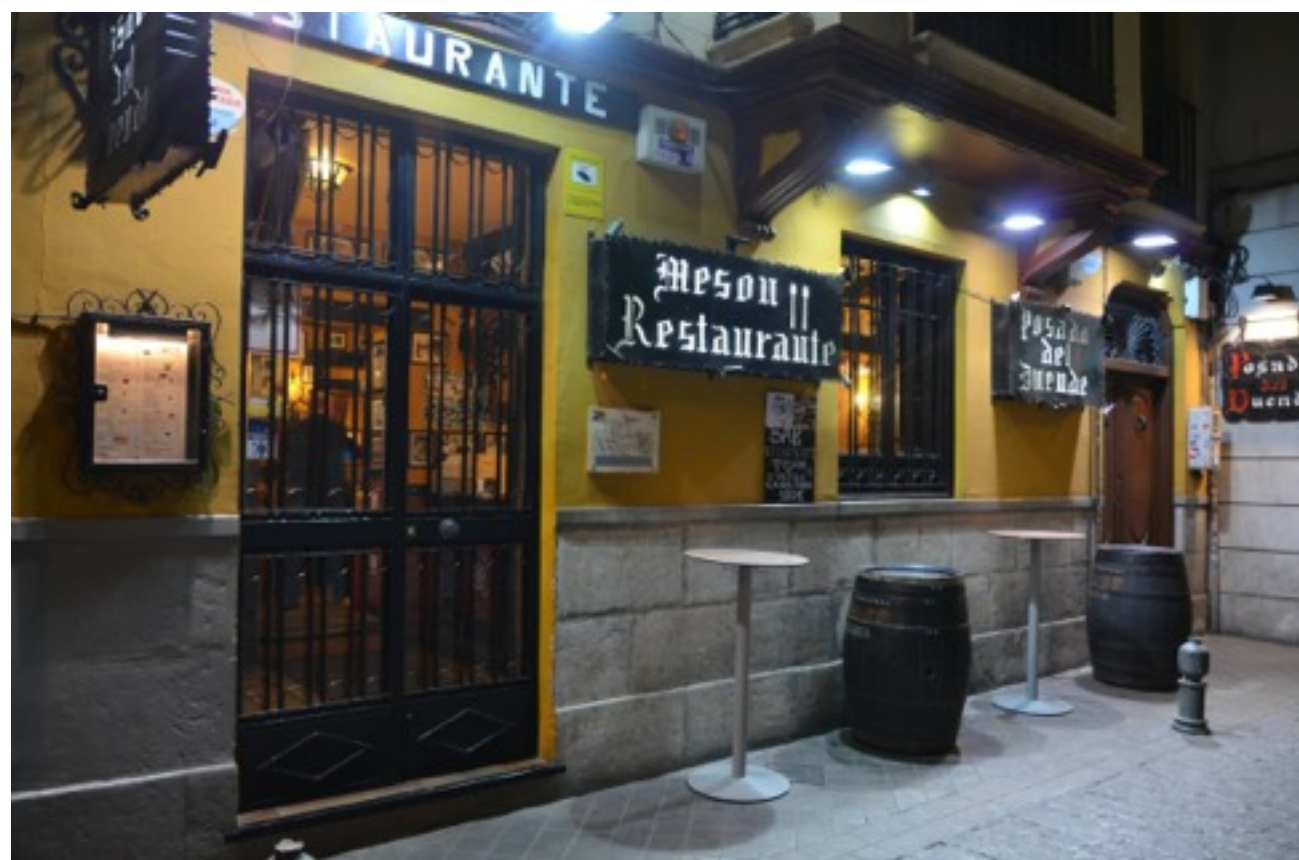




自由行動で世界遺産のアルバイシン地区を散策。細かい路地ばかりで持参の地図が役に立たない。商店街は商品が豊富。



清掃業者のストライキで山積みのゴミ。



食事は日本語メニューありの表示ですぐ入った。

5 ドン・キホーテの風車



街頭看板が禁止なので景色の邪魔者がなく、270度地平線を300km走ってラ・マンチャのドン・キホーテの風車に着く。

そこは地平線が広がる小高い丘にあり風車が7基ばかりあった。お土産やや建物がなく、景色と広い空間が多くなにか癒された。



風車は動いていない

行く前に長編のドン・キホーテを読んだので、この場所は興味があったが、こんなに空間が多い丘の上に風車が7基もあるとは想像がはずれた。



6 マドリード

最初はプラド美術館



ゴヤの肖像



そばにパフォーマー



前に無名の教会

世界三大美術館の一つだが、規模はそれを感じなかった。ただのビルと言う感じで記憶に残らない入り口で、横からの建物を撮影できずがっかりした。

展示室は他のヨーロッパ諸国と違って、写真撮影が禁止なのでなにも記録がないのである。主にベラスケス、グレコ、ゴヤの作品を短時間で眺めた。

アルムデナ大聖堂

マドリード市内の自由行動は、この教会と王宮及びスペイン広場そして市場を地下鉄と徒歩で楽しむ事にした。この教会はトレドやバルセロナに比肩する、装飾や開放度の高い立派な教会であった。



王宮とスペイン広場

王宮は木が一本も見当たらないが、中庭とまわりの広場が解放されていて、たくさんの人が中庭を散策していた。

日本の皇居は年に一部が数回解放される程度で、開かれた王族を感じた。

宮内庁はなぜ皇居を開放しないのか？宮内庁の職員は自分たちが選ばれた者という意識が強く、政治は無解放によって天皇の象徴を高める事によって、政治家と官僚の権威を維持している。皇居を観たい訳ではないがお粗末である。

スペイン広場は大きな公園と思いきや、日本のどこにでもあるような広さの公園であった。ドン・キホーテ像だけが目立っていた。

夕食はこの近くのファミリーレストランで、ステーキを頼んだら、女房と一緒に食べても食べきれず、半分を残してしまい、愛嬌たっぷりの店員は笑っていた。



マドリードの人々



なんと赤ん坊が笑っている。ほほえましいスナップである。

若い娘さんは脚が長い。私が撮ろうと思ったら、笑って逃げてしまった。

低学年と先生だろうが、この先生が明るくて飛んでいた。こどもたちも唄を歌いながら、楽しげであった。



マドリードSOL広場

マドリードの中心街SOL広場で、銀座にあたるグランピア通りがそばにある。

パフォーマー達がたくさんいて、それぞれ観光客や通行人を楽しませていた。

スペインに報道では不景気風が強いが、グランピア通りやSOL広場は人でいっぱい、寂れた銀座とは違い、不景気を全く感じなかった。

上のパフォーマーには1ユーロを渡して、写真を撮何枚も撮らせてもらった。下の写真は稼ぐというより趣味のパフォーマーと見たが果たして？



どこにもミュージシャンがいる



バルセロナのグエル公園のミュージシャン↓



↑トレドのミュージシャン

↓バルセロナのミュージシャン



↑地下鉄車内のミュージシャンで格好が良かったから1ユーロを払う。ニコッと、グラシアス

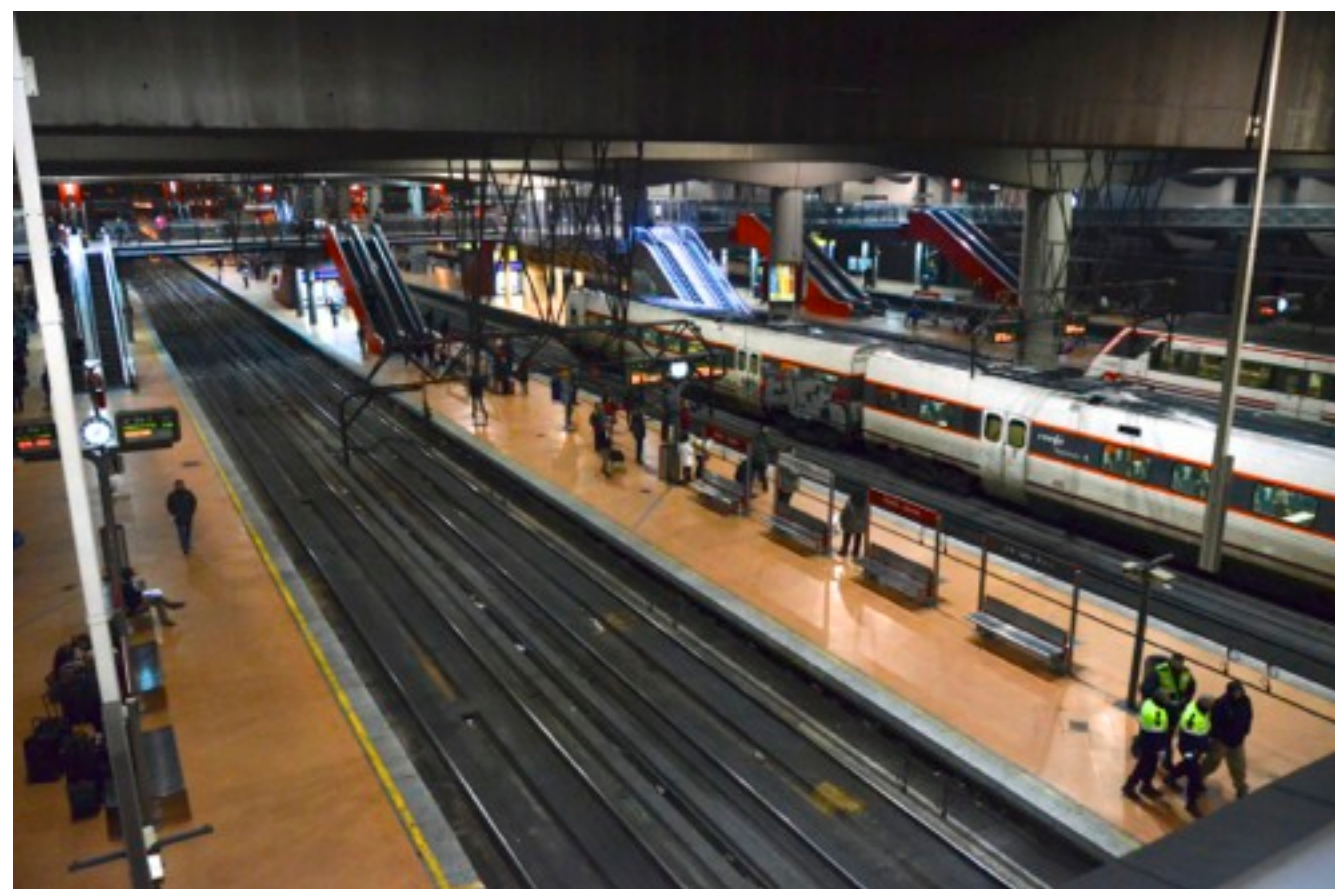
マドリードのミュージシャン▶

スペインのタクシーとパトカー

バルセロナのタクシー、トレドのタクシー
マドリードのパトカー、バルセロナのパトカー



6 自由行動でトレドに移動



さあ、いよいよ一日中の自由行動で、マドリードからトレドまでの珍道中である。

移動の事前学習を十分したのに、地下鉄や列車はヘルプミーの連発であった。

左上は地下鉄の車両とは思えないほどの地下鉄の急行列車の車内。右の車両は別に特徴はない。

この駅は途中駅だが、列車の駅かと思うほど立派で大きかった。

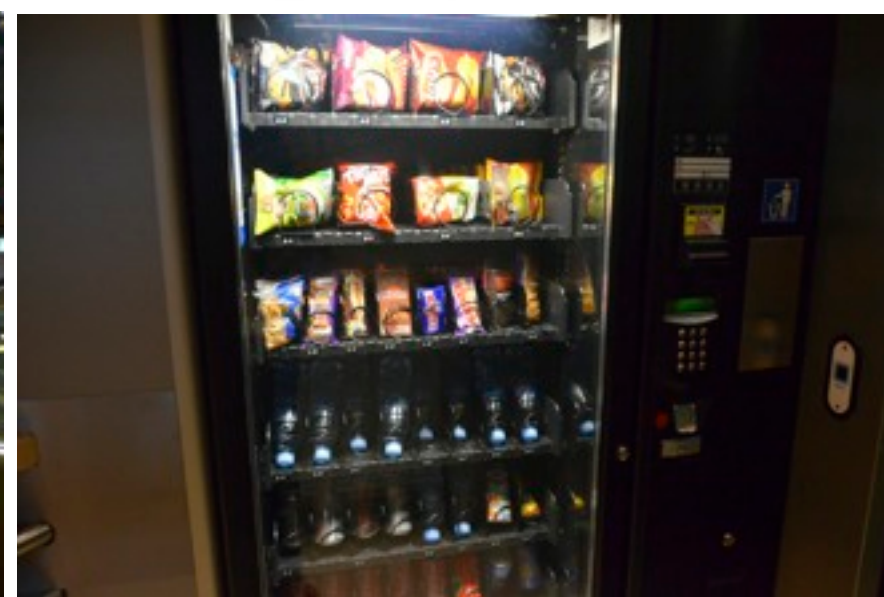
マドリードからトレドまで列車

列車の切符を買うのには苦労した。アターチャ駅には植物園みたいな場所がありびっくりした。

駅は案内と警備がすべて空港並みのシステムであった。トレドまでは3分遅延だと払い戻しらしいが、2分前の30分で着いた。



車内はグリーン車並みのゆったり席で揺れる事もなかった。車内にはヨーロッパでは珍しい自動販売機もあった。



スペイン名物の古都トレド



まず、古都トレドの全貌を俯瞰しようと、駅からタクシーで展望台を持つホテルまで行った。これでホームページで調べた通りの旧市街が一目瞭然で理解できた。

川が周りを巡り、橋も三本しかなく、それぞれに大きな門がある。城壁を巡らし、さすがに攻略には苦労した事が分かる。だから、いまでも現存しているのだろうと理解できた。

大きな建物が二つあるので、これを目標に歩けば、狭い路地が多い旧市街でも迷う事はないと思った。



展望台のあるホテルから旧市街まで歩く事一時間。
 途中、外人に撮ってもらった私のスナップは珍しい。
 だんだん、旧市街に近づいていく。あの橋を渡って旧市街
 に入る。マウンティンバイクが多いスペイン。





旧市街に入るには、橋の門と市街入り口の門をくぐらな
いと行けない。昔としては非常に嚴重な警備である。
左上の写真はなんとなく癒される。



また、門がありこれ
で三つ目である。門を
くぐるとメインの広場
であった。

トレド旧市街の広場と通路



この広場に観光列車、バス、タクシーが集結をしていた。道は細かい路地ばかりで持参した地図が役に立たない。



迷子同然だが写真の真ん中にある教会の塔が目印になる。





ポストは黄色



土産物屋のデコレーション



レストランの屋外席で頼んだらストーブをつけてくれた



歩き疲れたので屋外でコーヒーと人の動きを楽しむ

トレドのメイン 教会

私にとってトレドのメインである、カテドラル・ド・トレド大聖堂は、外部の装飾は地味であるが、内部の装飾は奇麗であった。また、内部は広くて彫刻や壁絵などがゆっくり見ることが出来た。

バルセロナのサグラダファミリア教会は、外部の凝った装飾と、内部のシンプルさとは真逆であった。

今回はマドリードのアルムデナ大聖堂と三カ所の教会を訪問したが、それぞれが建物や装飾に凄い凄いの連発であった。ヨーロッパ各地の有名教会は見ている方だが、どれもステータスであり、豪快さは度肝を抜かれる。





スペイン旅行のまとめ

2013年1月8日～14日までスペインに行った。
2012年8月に、燃油サーチャージと自由行動以外
食事込みで10万円という低価格のスペインツアー
が出たので、当日申し込んだ。

海外旅行の常だが、予備知識としてスペイン観
光局から合計数百ページの観光情報をPDFで取り
寄せ、スペイン旅行雑誌を図書館で数冊借り、ド
ン・キホーテの本を読み、スペインの音楽を収集
して電子機器にインストールし、ホームページ情報
や地図をオフラインでも読めるように加工した。
二回の自由行動に困らないように、地下鉄や列車
の利用情報、オフライン辞書の購入、ホテル情報
などを一ヶ月間ほど準備に費やした。地図などは
頭に入ってしまうほど覚えてしまう。いつもこの期
間が想像と知識の積み重ねで旅行そのものより楽
しみである。

訪問先の概略は、バルセロナでガウディの建築
物であるサグラダ教会、グエル公園、マンシヨ
ンのカサ・ミラだが、ガウディの個性的な建築物に
驚嘆した。特にサグラダファミリアは内外部と
も素晴らしかった。共に世界遺産であるカタルー
ニャ音楽堂、タラゴナの水道橋、エルチェのヤシ
園には感動を覚えなかった。アルハンブラ宮殿は
自由行動で入場時間が遅く内部に入れなかったの
で残念であった。川を挟んで対岸のアルハンブラ宮
殿展望台まで歩いて一時間ほどかかったが、世界

遺産であるアルバイシン地区の住環境と展望台は
満足感があった。

スペインは日本の1.5倍の面積だが、ラ・マンチャ
地区は平野が多いので270度水平線を見て数倍の
広さを、宣伝看板が禁止なので心地よい空間と広
さを感じながら、ドン・キホーテの風車はスペ
インのへそあたりにあった。ドン・キホーテを読ん
だので、想像とは違う小高い丘にある風車はシン
プルで見る価値はあった。マドリードに着いてか
らは自由行動である。古都トレドまで地下鉄と列
車を使い継いでの移動は、事前学習したのにも関
わらず、ヘルプミーの連続でスペイン人の助けを借
りるばかりであった。それだけに予定行動は計画
とおり遂行もできて満足感が高かった。古都トレ
ドはスペイン旅行の目玉だが、不肖には他のヨー
ロッパ諸国の古都や旧市街と変わらないと思っ
た。ただし、カテドラル・デ・トレド大聖堂はそ
の大きさと内部装飾の豪華さに度肝を抜かれた。
マドリードのプラド美術館と独自に行動したアル
ムデナ大聖堂、王宮、スペイン広場、銀座にあた
いするグランピア通りやSOL広場は記憶に残って
いる。スペインは不景気風の感じがあるが、賑や
かな広場や道路および人々から受ける印象はそれ
らを否定していた。

スペインの実感は、ホテルはどこも無料wifiが
使え、他のヨーロッパ諸国と比較して通信環境が
良く満足であった。日本の人口の40%なのに道路



はどこも広く、渋滞もなくゆったりしていた。スペインという音楽が浮かぶが、大きな公園や広場には必ずミュージシャンがいたり地下鉄車内にも女性の歌手が唄っており、民族と音楽が一体となってオーレを楽しんでいた。また、仮装のパフォーマーも多く、歩行中に愉快さと笑いを満喫できた。食事はそれぞれ美味しかったが、あるファミレスでステーキを頼んだら、女房と一緒に食べても半分を残すほどてんこ盛りのステーキには度肝を抜かれた。特に印象に残った建物は、バルセロナ、トレド、マドリードの教会であった。それぞれ内外部の装飾は個性的であるが、それぞれが豪華で

空間が多く満足感の高い建築物であった。各国の有名教会は見ている方だが特に印象が残った。事前学習ではヨーロッパ諸国の中で特にスペインはスリや強盗が多いとあったので、自由行動中、女房は首から不肖はポケットに呼笛を忍ばせたが、そういう危険は感じなかった。どの外国でもヘルプミーで手助けはあるが、今回もヘルプミーを多発したけど、拒否は一つもなく、ていねいにお手伝いしてくれ、嫌なことを全く感じない旅行であった。さあ、これからまた旅行情報を注意深く仕入れて、安くて満足感の高い海外旅行を発見したい。



スペイン旅行記録



作成・編集 水野 昭

埼玉県飯能市岩沢530-12

mizuno_akira@me.com

作成日 2013/02/03

